

第5章

学びがいのある魅力的な教育環境づくり
を進めます

テーマ 17 「教員の資質能力の向上・多忙化解消への支援と開かれた学校づくりへの取組」

■ 背景(課題)

学校における教育活動の充実のためには、広い教養と豊富な専門知識・技能を備え、児童生徒に愛情を持ち、教育に情熱と使命感を持つ教員を確保していくことが必要である。

昭和 50 年代に数多く採用された教員が退職期を迎える中、教員の採用においては、幅広い視野を持ち個性豊かでたくましい人材を教員として確保することとともに、教員自身が常に学び続ける意識を持ち、時代の変化や自らのキャリアステージに応じて求められる資質能力を生涯にわたって高めていく必要がある。

一方で、平成 29 年 4 月に公表された文部科学省による教員勤務実態調査によると、厚生労働省が過労死の労災認定の目安としている月 80 時間の時間外労働に相当する、1 週間当たり 60 時間以上勤務している教諭が、小学校では全体の 33.5%、中学校では全体の 57.6%となっており、この調査結果を受けて、教員の長時間労働の改善策について、中央教育審議会において検討が進められることとなっている。

教員が誇りと情熱を失うことなく、意欲・やりがいを高め、健康で充実して働き続けることができるようにしていくことは、教員が一人一人の子どもに丁寧に関わりながら、質の高い授業や個に応じた指導を実現していくための重要かつ喫緊の課題であり、教員が学習指導、生徒指導などの本来的な業務に専念できる環境づくりを進めていく必要がある。

また、社会の在り方が大きく変化する中で、日々、複雑化・多様化する教育課題に対応していくためには、学校、家庭、地域が責任を分かち合い、連携協働しながら、社会総掛かりで地域の子どもの教育に取り組んでいくことが重要となっており、地域全体で子どもたちの成長を支える体制を整備していく必要がある。

■ 関連する施策の実施状況

○特別選考の充実

教員採用選考試験において、経験や実績が豊富な人材を積極的に採用するために、これまでも教職経験者や芸術・スポーツの分野で秀でた技能や実績及び経験を有する人材、民間企業の経験者などを対象とした特別選考を実施してきたところであるが、特別選考の一層の充実を図るため、平成 29 年度採用選考試験（平成 28 年実施）では、小学校英語特選の新設と「大学推薦特別選考」、「社会人特別選考」、「外国語堪能者選考」の受験区分の追加を行った。

○教育研究リーダー養成研修の実施

理論的・実践的な教育研究を通して、課題解決能力と同僚性の構築力を身に付けたミドルリーダーの育成を目指す研修を実施した。

【平成28年度 教育研究リーダー養成研修 実施状況】

小・中学校、高等学校、特別支援学校の教員49名が参加、夏季休業中を中心に12日間の研修を実施

国語	社会・地歴・公民	算数・数学	理科	体育・保健体育	美術	学力向上	道徳
4名	7名	10名	3名	2名	1名	1名	4名
特別活動	学級経営	学年経営	生徒指導	特別支援教育	キャリア教育	ESD	計
3名	1名	1名	6名	1名	4名	1名	49名

○教員の多忙化の解消に向けた取組の検討とプランの策定

平成28年6月から、有識者、市町村立学校及び県立学校関係者、保護者代表等による「教員の多忙化解消プロジェクトチーム」（以下「PT」という。）において、教員の多忙化解消に向けた具体的な取組内容について協議を行い、11月にPTから県教育委員会に「教員の多忙化解消に向けた取組に関する提言」が提出された。その提言を踏まえ、平成29年3月に「教員の多忙化解消プラン」を策定した。

【教員の多忙化解消プラン「具体的な取組の柱」】

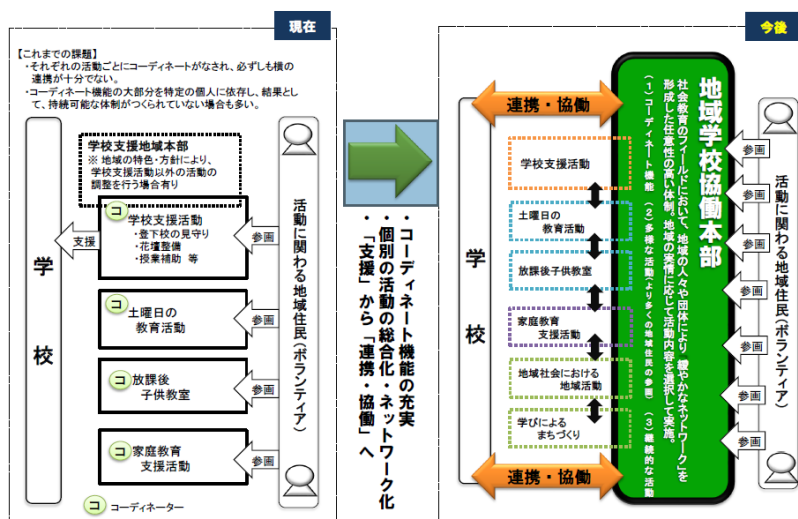
- (1) 長時間労働の是正に向けた在校時間管理の適正化
- (2) 業務改善に向けた学校マネジメントの推進
- (3) 部活動指導に関わる負担の軽減
- (4) 業務改善と環境整備に向けた取組

○地域学校協働活動推進体制づくりへの支援

教員や地域住民が子どもと向き合う時間を増やし、地域の教育力の活性化が図られるよう、地域全体で学校教育を支援する体制づくりに向けた協議を行う「学校支援地域本部事業運営協議会」を年2回（8月、11月）開催した。

また、平成28年11月に、「地域活動コーディネーター研修会」を開催し、地域学校協働活動の推進に向けて、中学生・高校生等を対象に、大学生や教員OBなど地域住民の協力による学習支援を実施する「地域未来塾」の取組内容を周知し、地域の教育力をどのようにコーディネートしていくかについての意見交換を行った。

今後の地域における学校との協働体制（地域学校協働本部）の在り方～目指すべきイメージ～



【地域学校協働本部のイメージ】

■ 取組の成果

- 平成 29 年度教員採用選考試験（平成 28 年実施）では、合格者 1,470 人の内、元教諭・講師特別選考 149 人をはじめとして、特別選考で 422 人が合格者となり、経験や実績が豊富な人材を積極的に採用した。

【教員採用選考試験の志願倍率の推移】

年度	採用予定者数							志願者数	倍率
	小学校	中学校	高等学校	特別支援	養護教諭	栄養教諭	合計		
25	750	390	330	130	60	10	1,670	9,645	5.8
26	700	330	360	110	60	10	1,570	9,325	5.9
27	700	330	330	120	50	10	1,540	8,814	5.7
28	700	330	300	120	40	10	1,500	8,284	5.5
29	700	300	300	120	40	10	1,470	8,165	5.6

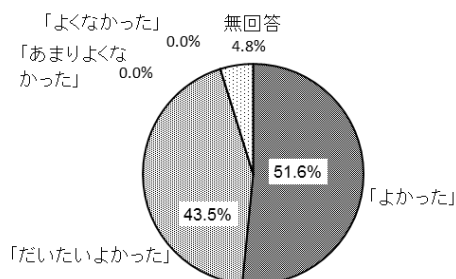
- ・ 在校時間[※]が月 80 時間を超過している教員の割合を、平成 31 年度までに全校種 0%を目指すことを目標として掲げた「教員の多忙化解消プラン」を策定し、教員の勤務の実情に関する県民の理解を広げるとともに、教員の多忙化解消に向けた具体的な取組について、市町村教育委員会とともに推進していく機運の醸成を図ることができた。

※ 休憩時間を含む正規に割り振られた勤務時間（8 時間 30 分）以外に自主自発的に業務に従事した時間

- ・ 「地域活動コーディネーター研修会」に各地から 67 名が参加し、「地域未来塾」の実践発表と統括コーディネーターの講話や大学教授の助言を通じて、地域住民等と学校との連携・協働体制づくりの進め方についての理解を深めた。また、10 市町の取組を報告書にまとめ、県内全市町村に配付した。

【「地域活動コーディネーター研修会」参加者の声】

「研修会全体を振り返って」



- ・ 地域未来塾のことがよく分かった。
- ・ コーディネーターとして継続して活動すれば、小さな力でも大きな力となるかもと勇気をもらえた。
- ・ 行政の方と捉え方や考え方が違った意見交換ができたのでよかった。

■ 課題

- 平成 29 年 4 月に教育公務員特例法が一部改正され、教員の資質の向上を図るため、県として、教員の資質向上に関する指標の策定及びそれを踏まえた研修計画を作成することとなった。

今後、新たに策定する研修計画に基づき、各学校における校内研修の取組を充実し

ていくとともに、県総合教育センターを中心とした研修体制を整備していく必要がある。

- ・ 「教員の多忙化解消プラン」に位置付けた具体的な取組について、進捗状況を点検しつつ、今後、国の働き方改革の動向を踏まえた新たな目標や取組、効果の見られない取組の見直しなど、プランの改定を行っていく必要がある。
- ・ 平成29年4月に社会教育法が改正され、「地域学校協働活動」に関する連携協力体制の整備や「地域学校協働活動推進員」が規定されたことを踏まえ、県内全域で地域と学校の永続的な連携協力体制づくりを進めていく必要がある。

■ 今後の方向性

〈短期的に取り組むこと〉

- ・ 平成30年度教員採用選考試験（平成29年実施）では、「外国語堪能者選考」において従来のポルトガル語、スペイン語、中国語に新たにフィリピン語（タガログ語）を加える。また、高等学校教諭・家庭において、実技試験を新たに課すこととし、優秀な人材の確保に努めていく。
- ・ 文部科学大臣の定める教員の資質向上に関する指針を元に、関係大学等で構成する協議会を組織し、地域の実情に応じた資質向上に関する指標を策定するとともに、その策定した指標に沿った研修計画を作成する。
- ・ 「教員の多忙化解消プラン」に基づき、平成29年度は、長時間労働の是正に向けた具体的な取組を実践する検証校（小・中・高各1校）を設定し、その成果の普及を図るとともに、部活動指導ガイドラインの策定を進め、フォローアップ会議による進捗状況の点検を行っていく。
- ・ 地域学校協働本部推進会議を開催し、地域学校協働活動の推進体制に関するビジョンの明確化や諸活動の改善等に向けて協議する。また、コーディネーター等に対する研修会を開催し、コーディネート技能の向上や、地域住民と学校との連携協力体制の整備についての理解促進を図っていく。

〈長期的に取り組むこと〉

- ・ 関係大学等で構成する協議会を活用して、地域における課題や学校現場の状況を指標や研修計画に反映させることにより、本県の実情に応じた人材育成を図っていく。
- ・ 教員の多忙化解消については、「教員の多忙化解消プラン」に基づき、専門スタッフの配置、教職員定数の確保等、学校の組織体制の充実に取り組んでいく。
- ・ コーディネーターや地域学校協働活動推進員の配置とともに、「放課後子ども教室」、「土曜日の教育支援活動」、「地域未来塾」等の活動実績を踏まえて、地域の実情に合わせた地域学校協働本部の組織化を進め、学校を核とした地域の活性化を図っていく。

（関係課室：教育企画課、教職員課、生涯学習課、高等学校教育課、義務教育課、特別支援教育課、総合教育センター、私学振興室）

テーマ 18 「学校施設の耐震化・老朽化対策」

■ 背景(課題)

(耐震対策)

平成7年に発生した阪神・淡路大震災において、昭和56年度の新耐震設計基準施行後の建物にはほとんど被害が見られなかったが、昭和55年度以前の建物は相当の被害があり、特に昭和45年度以前の建物の被害は甚大であった。

このため、県立学校においては昭和55年度以前に建築した建物について平成7年度から13年度までに耐震診断を実施し、その結果、耐震性が低く優先的な対策が必要なCランク建物については、平成14年度から18年度までの5年間で耐震化を図った。平成19年度からは、「あいち地震アクションプラン」が策定され、Bランク建物について耐震改修工事を行っている。この結果、県立学校建物の耐震化率は平成27年度末現在で高等学校95.2%、特別支援学校100%となっている。



【耐震補強の例】

市町村立小・中学校についても、それぞれの市町村において計画的に耐震対策が行われている。

○大規模な地震に対する安全性

ランク	構造耐震指標 (I _s 値)	大規模な地震に対する安全性
A	0.7以上	地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。
B	0.3以上0.7未満	地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある。
C	0.3未満	地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。

*I_s値：建物の強度・粘り強さ、建物形状やバランス、建物の経年劣化などの指標から求められる、建物の耐震性能を表す指標

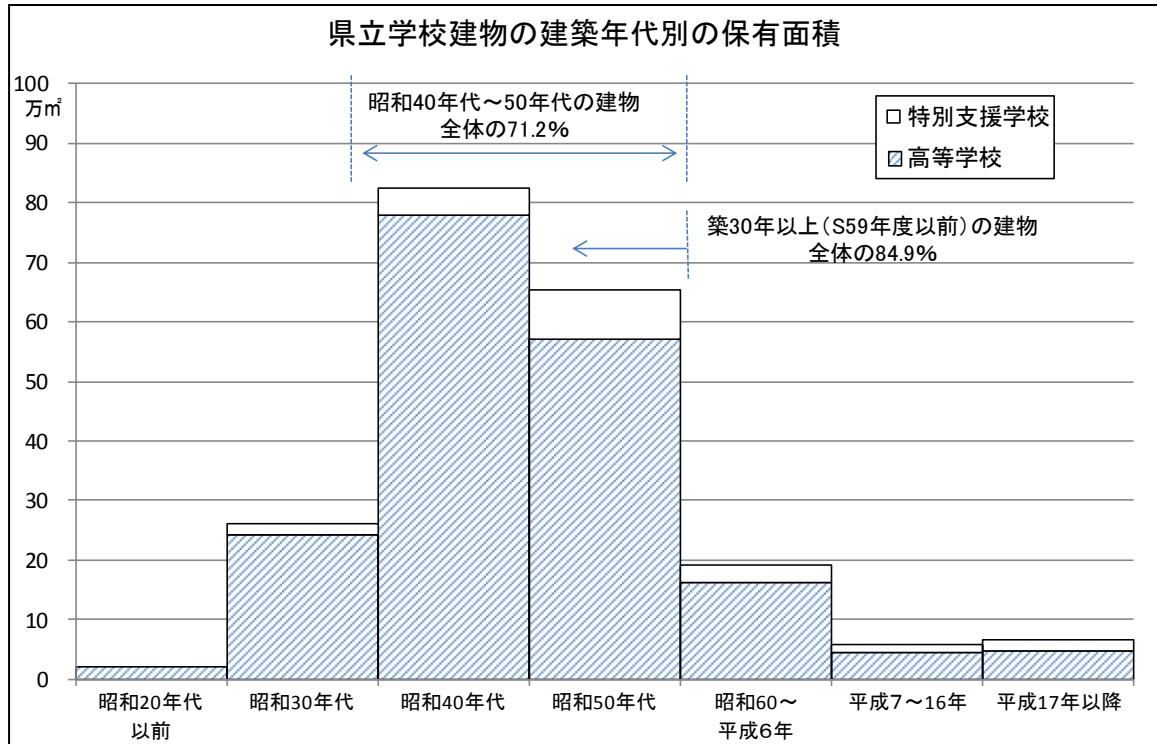
また、学校施設は、児童生徒の安全確保を図るとともに、災害時には地域住民の避難所としての役割を果たす施設であることから、東日本大震災等の際に多くの学校で被害のあった天井材、内・外装材、照明器具などの非構造部材も含め、学校施設の早期の耐震化完了は喫緊の課題となっている。特に非構造部材の中でも体育館吊り天井の落下防止対策は、最優先に取り組むべき課題となっている。

(老朽化対策)

県立学校建物については、施設総量は3,222棟、延べ床面積約208万㎡にのぼる。そのうち、築30年以上経過の建物は全体の8割以上を占めており、老朽化が進んでいる。さらに、昭和40年代から50年代の生徒急増期に建設した建物が全体の7割以上を占めており、今後、多額の改修、更新費用が必要となる。こうしたことから、事業費の削減や平準化を図りながら、中長期的に老朽化対策に取り組んでいく必要がある。

また、築30年経過を目途に経年劣化による機能低下を回復し、建物の耐久性

を高めることを主な目的として、屋上防水、外壁改修及び内部改修を一括して行う大規模改造工事を実施することとしているが、耐震対策を優先する必要があったことから、30年以上経過した建物の中にはこの工事が未実施となっている建物も生じている。



なお、全国的にも昭和40年代の高度成長期以降に集中的に整備されたインフラの老朽化が進行しており、今後20年で老朽化は加速度的に進行していくため、国は日本再興戦略の閣議決定（平成25年6月14日）を受けて、「インフラ長寿命化基本計画」（平成25年11月29日）を策定し、国としての基本方針を示すとともに、基本方針に基づき各省庁及び各地方公共団体に対して「公共施設等総合管理計画（行動計画）」及び「個別施設毎の長寿命化計画（個別施設計画）」の策定を要請（平成26年4月22日付け総務大臣通知）しているところである。

■ 関連する施策の実施状況

○耐震対策

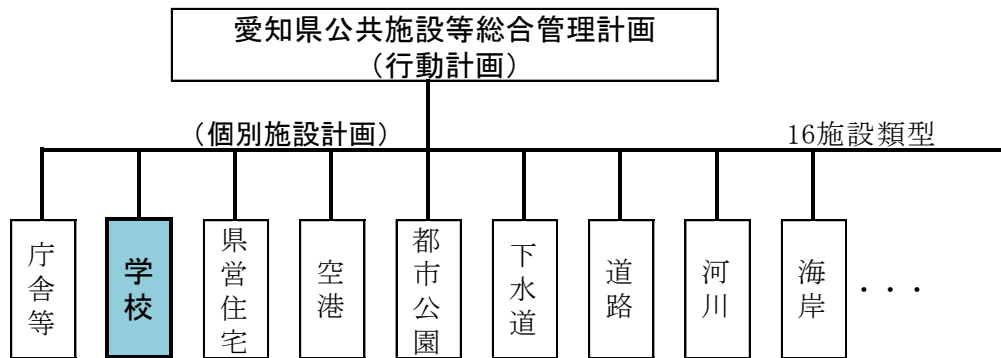
県立学校については、平成28年度に57棟の耐震改修工事を実施するとともに、35棟の体育館吊り天井の落下防止対策工事を実施した。

小・中学校については、耐震化が推進されるよう、会議等の場で市町村に対する働きかけを行うとともに、国へ国庫財源の確保について要望した。

○老朽化対策

本県は、平成27年3月に「愛知県公共施設等総合管理計画」（以下「総合管理計画」という。）を策定し、次のステップとして16の施設類型ごと、平成32年度までを目途に「長寿命化計画（個別施設計画）」を策定することとした。

《愛知県の体系》



県教育委員会は、総合管理計画の考え方に沿って、学校の個別施設計画にあたる「県立学校施設長寿命化計画（以下「長寿命化計画」という。）」を策定するに当たり、県立学校施設の現状を踏まえ、まずは、今後数十年先を見通した整備方針を策定することとし、平成 28 年度は外部有識者等で構成する検討委員会を開催し、幅広い関係者からの意見も参考として、長寿命化計画を策定する上での基本的事項や方向性を基本方針として定めることとした。

■ 取組の成果

・ 耐震対策

県立学校建物の耐震化については、工事施工上の都合で完了が平成 29 年度となる高校の 1 棟を除き、平成 28 年度末までに完了した。また、非構造部材のうち体育館吊り天井の耐震対策についても 28 年度末までに完了した。

また、市町村立小・中学校における建物の耐震化率も 99.8%まで進んでいる。

・ 老朽化対策

長寿命化計画を策定する上での基本的事項や方向性を定めた「県立学校施設長寿命化計画策定に関する基本方針」（以下「基本方針」という。）を策定した。

また、一刻も早い改修が必要な建物について、28 年度は次年度以降の工事施工のため、16 棟の先行設計を実施した。

■ 課題

・ 耐震対策

体育館以外（武道場、屋内プール等）の吊り天井の耐震対策については、全国平均と比較して本県は遅れている状況となっているため（図表 1）、早急に取り組んでいく必要がある。

【図表 1：公立学校施設の非構造部材の耐震対策実施状況（29.4.1 文部科学省）】

区分	耐震対策済率	
	愛知県	全国平均
小・中学校	96.1%	97.1%
高等学校	63.1%	91.8%
特別支援学校	84.4%	98.3%

・ 老朽化対策

長寿命化計画の策定に当たっては、総合管理計画の考え方に沿って、「安心安全の確保」を最優先とし、施設総量とそれに投じるコストのバランスに考慮して、事業費を削減しつつ平準化を図っていく必要がある。

市町村における小・中学校施設の長寿命化計画の策定については、多くの市町村で具体的な策定スケジュールが未定となっているため、策定期限の平成 32 年度までに策定するよう周知、徹底を図っていく必要がある。

■ 今後の方向性

〈短期的に取り組むこと〉

- ・ 体育館以外の吊り天井の耐震対策については、平成 34 年度までの完了を目指して、平成 29 年度から事業に着手していく。
- ・ 平成 28 年度に策定した基本方針に沿って、改修等の内容や時期、費用等を整理し、平成 30 年度までを目途に長寿命化計画を策定していく。
- ・ 一刻も早い改修が必要な建物については、平成 31 年度までに大規模改造工事を実施していく。
- ・ 市町村立小中学校に係る長寿命化計画の策定については、平成 32 年度までに策定するよう、引き続き各種会議等の場で周知していく。

〈長期的に取り組むこと〉

- ・ 平成 31 年度以降、長寿命化計画に基づき中長期の老朽化対策を実施していく。

(関係課室：財務施設課)

テーマ 19 「大学との連携と私立学校の振興」

■ 背景(課題)

(大学との連携)

県立高校では約 8 割弱の高校が大学と何らかの連携を行っているが、これからの社会で求められる論理的な思考力・判断力・表現力を育成していくためには、高校と大学が相互のニーズを把握し、高大連携による、魅力ある教育活動を一層推進する必要がある。

また、県内の各大学による地域連携活動が活発に展開される中、小・中学校においても、大学生の支援を必要とする機会が増えており、大学と小・中学校との連携を組織的に進めていく必要がある。

(私立学校の振興)

私立学校は、創立時の建学の精神や独自の校風のもと、特色ある教育を実践することにより、一人一人の個性に合った可能性をひらく教育を行っており、幼稚園では 89%、高等学校では 32%、専修学校では 94%の園児生徒が在籍するなど、公立学校とともに愛知の公教育において重要な役割を担っている。

本県では、私立学校の健全な発展を促進し、保護者負担の軽減、教育条件の維持向上及び経営の安定化を図るために、私学の振興を重点施策として、全国的にも高水準の助成策を講じている。

また、公・私立高等学校の設置者間では、「愛知県公私立高等学校設置者会議」において、中学 3 年生の進路実現に向けた課題や取組について協議するなど公私間の連携を深めながら、本県全体の教育水準の向上を図っている。

一方で、高等学校（全日制）の生徒募集に当たっては、中学 3 年生の進路希望状況などを勘案し、公私が協議のうえ、計画進学率を 93%とし、公私 2 対 1 の比率で募集枠を設定しているが、近年、進学実績は 90%程度にとどまっており、計画と実績の間に約 3%のかい離が生じている（図表 1）。

【図表 1：中学 3 年生の進路希望状況及び進学率】

年 度		26	27	28	29(速報値)	
中学卒業者数		74,427 人	73,625 人	73,336 人	72,657 人	
進路希望 状況調査	9 月(第 1 回)		94.2%	93.8%	93.9%	93.7%
		公立	79.2%	78.0%	78.2%	77.9%
		私立	13.0%	13.6%	13.7%	13.6%
	12 月(第 2 回)		92.6%	92.1%	92.4%	92.0%
公立		71.7%	70.1%	70.5%	70.1%	
私立		18.6%	19.6%	19.7%	19.5%	
進 学 率	計 画	(全日制+高専)	93.0%	93.0%	93.0%	93.0%
	実 績	(全日制+高専)	90.0%	90.0%	90.4%	90.0%
	乖 離	(計画-実績)	3.0%	3.0%	2.6%	3.0%

なお、近年、私立高校では生徒募集枠に対し 2,000 人程の欠員(平成 26 年度:2,373 人、27 年度:2,062 人、28 年度:1,796 人)が生じている。平成 29 年度に

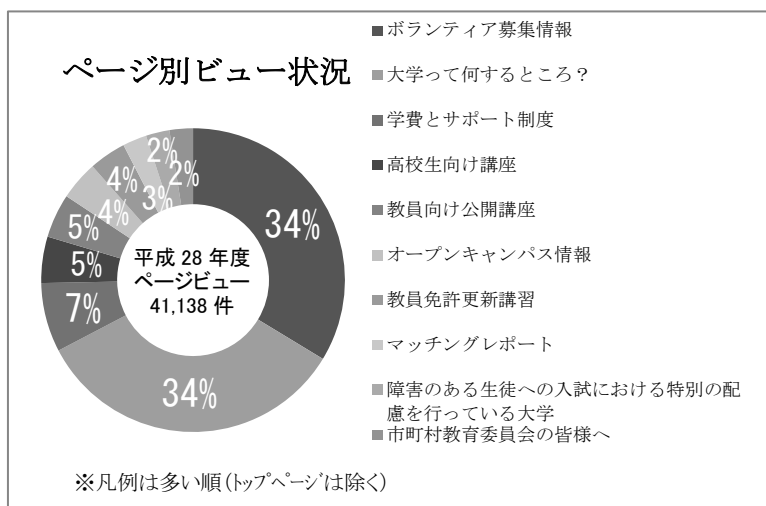
は、1,983 人となり、3 年ぶりに欠員が増加し、今後も少子化傾向が進む中、生徒の確保・経営の安定化が課題となっている。

■ 関連する施策の実施状況

(大学との連携)

○あいちの学校連携ネット

県内 49 大学と県教育委員会との連携事業の一つとして、平成 24 年度に開設した「あいちの学校連携ネット」により、大学が高校生向けに行う講座情報や、教員免許更新講習情報、市町村教育委員会等が募集する「学生による学校現場での学習支援ボランティア」情報等を掲載し、発信した。



【web ページ「あいちの学校連携ネット」の運用】

○大学と県教育委員会との連携推進会議

「大学と県教育委員会との連携推進会議」については、平成 28 年度に教員の育成指標をテーマとして、参加を希望する大学による分科会を開催する予定であったが、平成 28 年 11 月の教育公務員特例法の改正を踏まえ、県としての対応が検討中であったこともあり、年度内の開催を見送ることとなった。

○大学・企業と連携したスポーツ事業

「体育・スポーツ振興に関する協定」を締結している県内の中京大学、至学館大学、東海学園大学と、体育・スポーツを通じた相互の振興を図るため、個別に推進協議会を設置した。また、トヨタ自動車女子ソフトボール部との連携によるジュニア選手育成事業を実施した。

連携先	内 容
中京大学	大学教授によるコアトレーニングの講義とコーチによるソフトテニス実技講習会（参加者 39 名）を実施
至学館大学	大学教授による栄養学講義及び実習とジュニアアスリートに適したトレーニング実習（参加者 51 名）を実施
東海学園大学	大学准教授によるサッカー選手のフィジカル強化の考え方の講義と大学講師による初速を高めるスプリントトレーニング（参加者 25 名）を実施
トヨタ自動車	トヨタ自動車女子ソフトボール部レッドテリアーズ選手及びスタッフによるソフトボール実技講習会（参加者 45 名）を実施

○総合教育センターと大学との連携

平成 28 年度 4 大学と協定を締結している。大学と共同して教育研究調査事業（3 件）を実施した。また、大学教授等（127 人）を講師として各種研修・講座を実施した。

○愛知県立大学、愛知県立芸術大学における高大連携、地域連携の取組

・ 高大連携の取組

愛知県立大学の事業として、高校における大学の模擬授業や、県立大学教員及び県立大学出身の高校教員を講師とする高校教員向けの研修会等を実施した。

・ 地域連携の取組

愛知県立大学において、地域住民の生活と学術文化の振興に寄与するため、一般向けの学術講演会や公開講座、公開授業を開催した。また、愛知県立芸術大学において、一般向けの展覧会や演奏会、芸術講座を開催し、県民が芸術に親しむ機会を創出した。

(※SSH〈スーパーサイエンスハイスクール〉、知の探究講座等の取組は、「テーマ4 理数教育の推進」、教員の資質向上に関する指標策定に向けた取組は、「テーマ17 教員の資質能力の向上・多忙化解消への支援と開かれた学校づくりへの取組」を参照)

○県立高等学校教育課題研究指定校事業

本事業では、「主体的・対話的で深い学び」の実現、主権者教育、キャリア教育、多文化共生教育の推進などをテーマに、今日の学校教育における新たな教育課題に対応することを目的とした研究を行った。研究の推進に当たり、各研究指定校はテーマに即した専門分野の指導を大学教授等に依頼しており、高校と大学が課題を共有してこれからの社会の中で求められる資質・能力育成を図った。

また、高大接続の一環として、アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善を推進しており、大学での学びに必要な課題発見や課題解決に向けた能力の育成についても研究を進めた。

(私立学校の振興)

○私立学校に対する助成、私立学校に通う保護者負担の軽減

教育条件の維持向上及び私学の経営の健全化を図るため、私立学校の設置者に対する補助を実施するとともに、保護者負担の軽減を図るため、私立高等学校の全日制課程の入学者への入学金に対する補助や、私立高等学校や専修学校に通学する生徒への授業料に対する補助を実施した。

○多様な教育を受ける機会の確保

地域における私立幼稚園が実施する幼児教育に関する各種講座、保護者に対する教育相談などの活動への支援や、外国人の子どもの教育機会を確保し、教育環境の充実を図るため、外国人学校への支援を実施した。

○公私間連携の推進・協力

計画進学率や公私比率に関する課題を踏まえ、平成28年度は、公私関係者(県、名古屋市、私立高等学校設置者)において、平成29年度の生徒募集計画及び中学3年生の進路実現に係る公立高等学校と私立高等学校に共通する教育課題について協議(公立高等学校設置者会議・公私連絡会・公私実務者会議など)するなど、公私間の連携・協力を深めながら本県全体の教育水準の向上に努めた。

■ 取組の成果

(大学との連携)

・あいちの学校連携ネット

各教育委員会が主催、または支援している学習支援ボランティアの募集情報については、将来教職に就くことを目指した学生からのアクセスが多くあり、小・中学校と学生ボランティアを結びつける一助となっている。また、「学費とサポート制度」、「障害のある生徒への入試における特別の配慮を行っている大学」のページへのアクセスは、それぞれ、閲覧数全体に占める割合が7%、2%となっており、学校教育に関わる情報全般を県民等に提供するWebサイトとして一定の役割を果たしている。

・大学・企業と連携したスポーツ事業

いずれの事業においても、高い専門性を有する講師と日本トップレベルの競技力を有する講師から指導を受けることで、県内トップレベルの競技力をもつ参加者の競技に対する意欲が高まった。

・総合教育センターと大学との連携

研究発表会、研究紀要、ウェブページ、研修講座等による研究成果の還元を通して、学校における教育実践の充実に寄与している。また、大学教授等を講師として実施した研修・講座においては、最新の情報や俯瞰的視野からの知見を得ることができ、受講者の資質・能力の向上につながった。

・愛知県立大学、愛知県立芸術大学における高大連携、地域連携の取組

高大連携の様々な取組を通じて、大学の魅力を伝えるだけでなく、高校生や高校教員からのニーズを的確に把握しながら、相互の教育の充実に図っている。

また、地域に向けた講演会・講座・展覧会・演奏会等を通じ、大学における研究成果を発信するとともに、生涯学習支援、地域文化を担う人材の育成、地域の発展に貢献している。

■ 課題

(大学との連携)

- ・ 「あいちの学校連携ネット」については、当サイトを閲覧後に直接大学や教育委員会と連絡を取り合うことも多く、また当サイトを經由して連絡することもあり、必ずしもアクセス数イコール活用数とはならないが、アクセス数の増加が活用につながるため、コンテンツをより一層充実させる必要がある。またマッチングサイトなど情報提供が少ないページは積極的な情報収集が必要である。

(私立学校の振興)

- ・ 平成29年3月卒の県内中学3年生の全日制高等学校への進学率は90.0%となっており、依然として計画(93%)との間に約3%の乖離が生じている。また、平成29年度生徒募集において、私立高校の欠員が3年ぶりに増加した。今後も、この乖離についてさらに分析を進め、公私が協調して具体的な対策を検討していくとともに、私学の欠員については、公私両輪で本県の教育を支え

ていくうえでの大きな課題として、公私が協調し改善に取り組んでいく必要がある。

■ 今後の方向性

〈短期的に取り組むこと〉

(大学との連携)

- ・ 「あいちの学校連携ネット」については、毎年度、大学や市町村教育委員会に対して情報の更新を依頼しているが、更に年間を通してタイムリーな情報提供や更新ができるよう、機会をとらえて情報の更新等を大学等に呼びかける。また高校生や大学生向けに、活用促進のためのチラシを作成、配布するなど、広報活動を行っていく。
- ・ 平成 29 年度の「大学と県教育委員会との連携推進会議」については、教員の育成指標の策定状況に関する情報提供と意見交換を目的として、分科会の開催を検討していく。
- ・ 今後、「体育・スポーツ振興に関する協定」を締結している日本体育大学、中京大学、至学館大学、東海学園大学や企業等と連携した県独自の事業実施を検討していく。
- ・ 「県立高等学校教育課題研究指定校事業」において、平成 30 年度に発表会を開催し、高大接続の在り方を含む研究成果の普及を行う。

(私立学校の振興)

- ・ 公私立高等学校設置者懇談会等の機会を捉え、これからの公私のあり方について大局的な意見交換を行うなど、公私間協議の充実により具体的な対応策を検討していく。

〈長期的に取り組むこと〉

(大学との連携)

- ・ 「あいちの学校連携ネット」については、情報の更新は容易にできるものの、構造の変更はできない仕様になっており、自由度の高い仕様に変更することを検討していく。
- ・ 高等学校と大学が高大接続の在り方について連携できる体制づくりを検討していく。

(私立学校の振興)

- ・ 私立学校では建学の精神に基づいた特色ある教育を展開しており、県民が多様な教育を受ける機会を確保し、個々の幼児児童生徒がそれぞれの能力・適性にふさわしい教育を受けることが可能となるよう、私立学校の教育環境を整えていく。

(関係課室：教育企画課、財務施設課、高等学校教育課、義務教育課、保健体育スポーツ課、総合教育センター、学事振興課、私学振興室)

公益社団法人愛知県私立幼稚園連盟には、愛知県内の全ての私立幼稚園が加盟し、様々な教育研究・教員研修を実践している（加盟園 418 園）。

① 教育研究の実施

【課題研究の実施】

毎年、1年間をかけて課題研究を行い、それを研究紀要にまとめ、全園並びに関係諸機関に配布している。平成 28 年度は、以下の二つの内容について研究を進めた。

「保育を支える教育課程を見直してみよう」

「私たちの園行事の実践報告」

【研究紀要の作成】

毎年実施している課題研究について、冊子にまとめ、県内全ての幼稚園に配布するとともに、関係諸機関に対しても、私立幼稚園の実践の様子を知っていただくため、配布している。平成 28 年度研究紀要では上記二つのテーマについての研究結果を記載した。このように、毎年、研究のテーマを決め、私立幼稚園ならではの実践的取り組みを実施している。

② 愛知県私立幼稚園連盟が実施する教員研修

愛知県の私立幼稚園には、5,000 人余りの教員が勤務している。日々の保育での実践にあたって、学びの機会を持つことは重要である。愛知県私立幼稚園連盟としては、平成 28 年度は下記の研修会を開催した。

平成 28 年度研修名	講座数	参加者数
① 新規採用教員研修会	年間 10 講座	参加者 264 名
② 二年目教員研修会	年間 3 講座	参加者 281 名
③ 三年目教員研修会	年間 3 講座	参加者 247 名
④ 中堅教員研修	年間 3 講座	参加者 121 名
⑤ 園長主任研修会	年間 3 講座	参加者 92 名
⑥ 子どもの発達と保育研修会	年間 3 講座	参加者 79 名
⑦ 特別支援教育研修会	年間 3 講座	参加者 100 名
⑧ 保護者対応研修会	年間 3 講座	参加者 99 名
⑨ 幼稚園教育課程講座研修	年間 4 講座	参加者 208 名
⑩ 環境教育研修会 A	年間 3 講座	参加者 31 名
⑪ 環境教育研修会 B	年間 3 講座	参加者 27 名

③ 関連団体の実施する研修への参加

研修会は、愛知県内にとどまらず、関連諸団体とも連携し、多岐にわたる研修や研究を実施している。

研究大会等	内容・開催地
東海北陸地区教育研究大会	参加及び研究発表 平成 28 年度 四日市市で開催
幼児教育実践学会	参加 平成 28 年度 東京都で開催

④ 愛知県内地区別研修会の開催

以上のような研究・研修の他に、近隣幼稚園が集まって身近に研修を実施することも多くなってきている。こうすることで、より多くの教職員が共通のテーマで研修を受け、保育実践につなげていくことができるようになってきた。

平成 28 年度は、春日井・一宮・豊川・豊橋・安城で開催された。

以上のように、様々な研究・研修が実施されているが、幼児教育に対する考え方は日々進歩しており、学ぶ機会を得ることなくして、より良い保育実践を望むことはできないという考えの下、研修への参加が定着してきている。

(公益社団法人愛知県私立幼稚園連盟とりまとめ 平成 29 年 7 月)

～私立中学校・高等学校における「職場体験活動・インターンシップ」の主な取組事例～

学校名	取 組 内 容
愛知高等学校・中学校	中学校（2年土曜講座「職業体験」、調べ学習・職場体験・成果発表）高校（夏休み・希望者が看護体験・私立幼稚園体験）
愛知工業大学附属中学校	職場体験（3年生全員、1～2日）
愛知産業大学工業高等学校	インターンシップ（7月3日間、全科149名、56企業）
愛知みずほ大学瑞穂高等学校	看護体験（8月5人）、幼稚園体験（7～8月 数名程度）
桜花学園高等学校	職業別体験講座（3月1年370人）、卒業生講演会（5月1年）、卒業生の徳育講話（年6回全生徒1,200人）、保育士体験（2年8月140人、3年春秋120人）
菊華高等学校	インターンシップ（長野県昼神温泉施設8人、大学食堂2人、ホテル2人、専門学校8人）、職場体験（幼稚園実習3月27人）
享栄高等学校	インターンシップ（8月3日間2年生17事業所33名）、幼稚園体験学（8月3日間3年保育進学希望者5名）
啓明学館高等学校	私立幼稚園体験（3年11人5日）、一日看護体験（3年7人）
至学館高等学校	インターンシップ（夏季・商業科2年生70人）
椋山女学園高等学校・中学校	看護体験（高校希望者）
星槎名古屋中学校	身近な人の仕事先へジョブシャドウ（1・2年生）、職場体験（2年、6月、3日）、上級学校訪問（3年、6月）
大同大学大同高等学校	インターンシップ（就職希望の2年生39人、28年度受入可能企業46社）
中京大学附属中京高等学校	看護師体験（夏季7人）、保育体験（夏季5人）
東海中学校・高等学校	総合・自己発見～卒業レポートインタビュー～（中3全生徒、各自で夏季休暇中にインタビューを実施）
東海学園高等学校	私立幼稚園実習（全学年希望者8月）、病院看護体験（2・3年希望者8月）
東邦高等学校	インターンシップ（1・2年生希望者に6日間13人）、学内インターンシップ（企業探究プログラム・1年生普通コース、美術科全員）
同朋高等学校	キャリアデザインプログラム（介護3月）、MPプログラム（看護・医療実習7・8・12月）、インターンシップ（3月）
名古屋中学校・高等学校	職場体験（中学2年、夏季休暇中に見学・体験実習）
名古屋経済大学市邨中学校・高等学校	インターンシップ（高1キャリアデザインコース：94人、7月、3日間、高校希望者：26人、7・8月）、職場訪問（高1特進・文理コース全員301人、1月）
名古屋国際中学校・高等学校	「働く人々の話を聞く会」1時間講座（高校1年48人）
名古屋女子大学高等学校	一日看護体験（8月、15人）、私立幼稚園体験学習（夏季、47人）
南山高等学校・中学校	職場体験（1日男子部中2年200人）（1日女子部高1年200人様々な職業の卒業生を含めた女性講師による授業90分講座×2講座）、キャリアトライアル（インターンシップ、数日、女子部高1・2、20～30人）

学校名	取 組 内 容
名城大学附属高等学校	企業訪問（年1回総合学科1年全生徒）
愛知啓成高等学校	一日看護体験（8月29人）、私立幼稚園体験学習（夏季26人）、インターンシップ（8月46人）、中部経済同友会を講師とする特別授業（7月2年生）
愛知黎明高等学校	インターンシップ（6・7月、4日間、普通科1年全生徒）、クライマックスインターンシップ（全3年生、自分の進路と連動）
栄徳高等学校	インターンシップ（夏季、3社7人）
修文女子高等学校	ジュニアインターンシップ（夏季、11企業29人参加）、私立幼稚園体験学習、一日看護体験研修・臨床工学技師職場体験等
聖カピタニオ女子高等学校	職場体験（全学年12月2日間、幼稚園、障がい者施設等）
星城高等学校	インターンシップ（2年生17人11事業所5日間）
誠信高等学校	インターンシップ（8月2年生12事業所17人）、看護・幼稚園体験（夏季）
清林館高等学校	職場体験（普通科進学総合コース・看護福祉プログラム、幼稚園体験、看護師体験等）
聖霊中学校・高等学校	各分野で活躍する卒業生の職業体験講話（中3全員）、インターンシップ（NPO法人と連携、高1 27人）
大成高等学校	職場体験（中学校、障がい者施設、老人ホーム）、インターンシップ（夏季、高2、66人）
中部大学第一高等学校	職場体験（一日看護体験研修・私立幼稚園体験学習・希望者）
中部大学春日丘高等学校	インターンシップ（夏季、4日、ホテル、1名）
愛知産業大学三河高等学校	ジュニアインターンシップ（夏季、1・2年生希望者、146人）
愛知産業大学三河中学校・高等学校	地元農場で米栽培から販売まで体験
安城学園高等学校	職場体験、看護体験、幼稚園実習（8月）、商業科インターンシップ8月職場体験
岡崎学園高等学校	就職希望者に対する職場見学
岡崎城西高等学校	職場体験（看護体験15人、幼稚園体験9人、外科セミナー2人、作業療法士2人）
杜若高等学校	職場体験（夏季、1・2年生8人、ホテル、こども園、1～3日間）
豊田大谷高等学校	職場体験（1・2年人間福祉コース64人3日、3月、高齢者・障がい者施設・こども園等）、インターンシップ（2年情報メディアコース20人2日、3月、企業約10社）
桜丘高等学校	インターンシップ（2年夏季26人）、進路シミュレーション（2年普通科・音楽科就職希望110人）
桜丘中学校	総合「自己探求プログラム・インターンシップ」（中3、60人、職場体験とインタビュー）
黄柳野高等学校	「プロジェクトT」の授業の一環（全校生徒10月・2月、40事業所95人）
豊川高等学校	インターンシップ（1人）、一日看護体験（11人）
豊橋中央高等学校	インターンシップ（1・2年60人50事業所）
藤ノ花女子高等学校	インターンシップ（2年生活情報科4人）、職場体験（一日看護体験15人、幼稚園体験23人）

（愛知県私学協会とりまとめ 平成29年7月）

～私立中学校・高等学校における「産業教育」の主な取組事例～

学校名	取 組 内 容
愛知工業大学名電高等学校	先端科学技術入門（科学技術科・情報科学科 1 年生、週 2 時間の授業）
愛知工業大学附属中学校	中部経済同友会「特別授業」（2 年全員）
愛知産業大学工業高等学校	各種資格・検定の取得奨励、県工業高校総合競技大会・ロボット競技会への参加
愛知みずほ大学瑞穂高等学校	各種検定への積極的な挑戦（全商簿記実務検定、全商ビジネス文書実務検定、全商情報処理検定等）
桜花学園高等学校	外部講師による面接指導（3 年 400 人）
菊華高等学校	パソコン 88 台設置
享栄高等学校	フォークリフト免許取得講習、技術顕彰制度、ジュニアマイスター顕彰、ITパスポート試験
啓明学館高等学校	学校設定教科「生活」・総合学習で社会人講師による介護・ビジネスマナー実習（23 回・2 年全員）
至学館高等学校	家庭科技術検定（家政科）、実務検定（商業科）への取組
星槎名古屋中学校	土曜授業「洋裁ゼミ」「社会見学ゼミ」、企業探究型グループ学習、SAAB(SEISA Africa Asia Bridge) の実施
大同大学大同高等学校	2 年次よりコース選択制を導入（工業科）
東海学園高等学校	キャリアガイダンス(1 年 7 月)、卒業前キャリアガイダンス(3 年 2 月)
同朋高等学校	生活設計講座（1 年商業科 2 月）、租税教室（2 年商業科 7 月）、ライフプラン学習会（3 年商業科 12 月）、マナー・身だしなみ講座（3 年商業科 12 月）
名古屋中学校・高等学校	高校（進路を考える日・高 1・卒業生や各界から講師を招へい）、中学（卒業生による講演）
名古屋経済大学市邨中学校・高等学校	タブレット端末の授業への取り入れ（140 台）
名古屋国際中学校・高等学校	文部科学省 SGH アソシエイト認定「Sustainability in Action! で未来を拓くソーシャルアントレプレナーの育成」（全生徒）
名古屋女子大学高等学校	土曜講座（キャリアセミナー）、学問探究合宿（企業訪問）
名城大学附属高等学校	SSH・SGH 事業・産学連携による研究発表集会やフィールドワーク
愛知啓成高等学校	各種資格検定試験・コンテストへの積極的な取組（商業科、生活文化科）

学校名	取 組 内 容
愛知黎明高等学校	看護教育の充実（H25 全日制看護科の設置。昼間定時制衛生看護科とともに看護師、准看護師を養成）
聖カピタニオ女子高等学校	環境問題への啓蒙活動（「Blue Earth Project」スイーツメニューを企業と共同開発）
誠信高等学校	2年次よりコース制を導入
清林館高等学校	TOEIC 受験の推奨（年6回）
聖霊中学校・高等学校	地元の産業・文化である瀬戸赤津焼の体験（中1年全員）
大成中学校	中学校：科学部のプログラミングによるロボット製作
中部大学第一高等学校	検定の受検（アーク溶接技能検定、旋盤技能検定等）、ボイラー取扱技能講習（機械電気システム科）
愛知産業大学三河高等学校	外部講師による講演（各学年）、面接指導（3年生就職希望者、外部講師10人）、面接スタンプラリー（3年、就職希望者全員、3回）
安城学園高等学校	商業科インターンシップ
岡崎学園高等学校	求められる人材に関する外部講師による講演
岡崎城西高等学校	就職希望者工場見学（58人）
杜若高等学校	6つの進路支援プログラム・講座（医療看護、保育・幼児教育、自動車工学、福祉、英会話・留学、イラスト・デザイン）による実体験の場の設定
桜丘高等学校	進路キャリア入門講座・なるには講座（1年普通科・音楽科）、進路模擬体験講座（2年普通科・音楽科）
黄柳野高等学校	新城市若者支援金プログラムに応募
豊川高等学校	GTEC 受験（1、2年749人）
豊橋中央高等学校	家庭科技術検定3種の取得（家政科）

（愛知県私学協会とりまとめ 平成29年7月）

～ 私立中学校・高等学校における「グローバル化への対応」の主な取組事例 ～

学校名	取 組 内 容
愛知高等学校・中学校	アメリカ（高1・2 希望者）、オーストラリア（中3・高1 希望者）への海外研修
愛知工業大学名電高等学校	カナダのサレーを中心に語学研修及び異文化体験（15日間程度、希望者）
愛知工業大学附属中学校	語学研修（オーストラリア、希望者12人、16日）、少人数英会話（全生徒）、JICAワークショップ（1年全員）、国際理解ワークショップ（2年全員）
愛知みずほ大学瑞穂高等学校	オーストラリアへの修学旅行（2月中旬5泊6日）、英語検定への受検推奨
桜花学園高等学校	台湾の姉妹校との交流、カナダ・オーストラリアへの語学研修（15日間、希望者）、オーストラリア修学旅行（2年英語コース、10日間）
菊華高等学校	ニュージーランド（ネイピア）長期留学（1人）、同国夏季語学研修（3人）
享栄高等学校	海外語学研修（オーストラリアでのホームステイ）、ネイティブ講師による英語授業
金城学院中学校・高等学校	高校における、総合的な学習の時間「Dignity」、地歴公民科と英語科の合科科目「World Studies」、英語科選択科目「Culture」、英語科「論理・表現セミナー」等
啓明学館高等学校	外国人講師とのチーム・ティーチング（1年、英語表現I）、ビジネス英会話（商業科1年、英語実務）
至学館高等学校	ニュージーランド留学（普通科留学コース・1年間）
椙山女学園高等学校・中学校	中学校：入学前英語教育、夏季休業中のイングリッシュシャワー 中学校・高校：ネイティブ講師による授業
星槎名古屋中学校	ハワイ実習（4泊6日）、土曜授業「デンカ先生と学ぶブータン」、外国人講師による英会話
大同大学大同高等学校	オーストラリアへの海外語学研修（21日間、希望者）
中京大学附属中京高等学校	オーストラリアへの海外語学研修（国際クラス、12日間）
東海中学校・高等学校	外国人講師による英会話授業、海外研修（中3・高1、ニュージーランド・イングランド・スコットランド・アイルランド）、「アメリカンキャンプ」（中1・2）
東海学園高等学校	カナダ留学（留学コース2年、1年間）、海外語学研修（カナダ、3週間）、ネイティブによる英語授業
東邦高等学校	姉妹校の留学生受入、アジア各国訪問団受入、韓国・中国視察団受入、ニュージーランドでの夏期英語研修、英検受検推奨
同朋高等学校	オーストラリア語学研修（8月）、音楽科オーストラリア修学旅行（3月）、語学プログラム（ネイティブ教員による英会話、週2回）
名古屋中学校・高等学校	メントン・グラマースクール（オーストラリア）との交換留学、イギリス、アメリカ、オーストラリア希望者語学研修、短期交換留学生の受入等
名古屋経済大学市邨中学校・高等学校	語学研修（ニュージーランド7～9月、カナダ3月）、留学生受入（ニュージーランド1人、1年間）
名古屋国際中学校・高等学校	国際理解研修（ロンドン、エドモントン、ビクトリア、ボストン、マニラ、ニュージーランド、シンガポール・マレーシア、1～8週間、中3・高2）
名古屋女子大学高等学校	語学研修プログラム（カナダ・イギリス・アメリカ、希望者）
南山高等学校・中学校	男子部：海外研修（高1：オーストラリア、イタリア、1～3週間）、留学（中3：ニュージーランド、3か月）女子部：海外研修（高1：オーストラリア・イギリス、高1・2：イタリア、1～2週間）
名城大学附属高等学校	海外修学旅行（ニュージーランド・ハワイ・台湾）、SGH・SSH 海外研修、オーストラリア研修等

学校名	取 組 内 容
愛知啓成高等学校	海外修学旅行（カナダ、シンガポール・マレーシア）、留学（長期カナダ、短期カナダ、ニュージーランド）、語学研修（ハワイ、イギリス）、姉妹校交流、留学生受入れ等
愛知黎明高等学校	海外友好校からの学校訪問・ホームステイ受入、アメリカ語学研修旅行（2年）
栄徳高等学校	姉妹校（ニュージーランド・ダニバーク高校）との間で、代表生徒と教員の訪問、交流
聖カピタニオ女子高等学校	オーストラリア短期留学（1年英語コース全員）、アイルランド語学研修（希望者）、インド体験学習（希望者）
星城高等学校	SGH アソシエイト校としての各種活動（ネイティブによる英語授業、イングリッシュキャンプ、留学生との交流、海外研修・海外修学旅行等）
清林館高等学校	オーストラリア・フィリピン CPILS 語学研修、留学の推進、海外姉妹校との交流（交換留学）、海外修学旅行（台湾姉妹校訪問等）等
聖霊中学校・高等学校	6年間一貫の英語教育、ネイティブ教員による会話指導（中2～高1）、オーストラリアのメルボルンの姉妹校との相互訪問交流（中・高）
大成高等学校	中学校：語学研修（チェジュ島、セブ島：1週間、ニュージーランド：1か月）、高校：留学（カナダ、英語留学コース、1年）
滝中学校	カナダ研修（卒業後・希望者）
中部大学第一高等学校	「異文化理解」（2年総合）、海外修学旅行（2年希望者）、英語検定受検（1年生普通科）、リスニング英語検定受検（機械電気システム科）
中部大学春日丘高等学校	研修旅行（シンガポール、オーストラリア）、SGH として英語教育、アジア文化理解
中部大学春日丘中学校	カナダ語学研修（3年、10日間、83人）
愛知産業大学三河高等学校	ALTの導入、短期留学（アメリカ・カナダ・オーストラリア等）、英語によるプレゼンテーション、文化祭で発表（オーストラリアの文化歴史、中高一貫コース）
安城学園高等学校	海外修学旅行（シンガポール・希望者）、留学（1年間、アメリカ、カナダ、オーストラリア）、英語コース・セミナー、留学生受入
岡崎学園高等学校	短期（2週間）・中期（3か月）・長期（1年間）の留学制度（カナダ、ニュージーランド、オーストラリア）
岡崎城西高等学校	会話授業（1年、AET+専任）、国際交流授業（1年総合）、英語演習Ⅱ（英会話）、オーストラリア語学研修
杜若高等学校	ニュージーランド英語研修（夏季、8日間、4人）
豊田大谷高等学校	オーストラリア短期留学（ギルロイ・カソリック・カレッジ、ホームステイ体験）
南山国際高等学校・中学校	短期留学（ホープウェル、レイクノーマン）及び交換留学の受入、英語のグレード別授業、ネイティブ教員の充実、リベラルアーツの導入等
桜丘高等学校	英語検定全員受検、ニュージーランド1年留学、短期ホームステイ、中国研修、オーストラリア研修（中高一貫2年）、フィリピン研修（中高一貫1年希望者）
桜丘中学校	語学研修（ニュージーランド：8月、中3希望者、韓国：10月、中2全員）、国際体験デー（異文化理解、年5回、中3）
黄柳野高等学校	フェアトレードを広げる活動、ニュースレター発行、ワークショップ・軽トラ市出店（新城市）、英語検定受検
豊川高等学校	中国語講座、夏季各種海外研修、ALTによる授業
豊橋中央高等学校	ESD推進活動（ユネスコスクール、難民支援）、World News の視聴、台湾高校とのアートマイル、海外留学生の受入

（愛知県私学協会とりまとめ 平成29年7月）

～ 私立中学校・高等学校における「学力の向上」の主な取組事例 ～

学校名	取 組 内 容
愛知高等学校・中学校	早朝学習、業後講習
愛知工業大学名電高等学校	保護者対象の授業参観、教員相互の授業参観・研究協議、授業アンケート
愛知工業大学附属中学校	「土曜テスト」(全生徒、年7回)、指名補習(全学年、少人数、年5回)
愛知産業大学工業高等学校	7限授業(機械科進学クラス)、基礎学力補習授業(夏季・冬季)
愛知みずほ大学瑞穂高等学校	7限授業(特進)、補習(特進+希望者)、学習合宿(1・2年特進+希望者)
桜花学園高等学校	eラーニング(1・2年英語クラス)、数学・英語グレード別授業(2・3年、理数コース)
菊華高等学校	少人数指導、KIKUKA講座(2年5クラス8展開、3年5クラス8展開、選択授業)
享栄高等学校	少人数クラス編成(特進等)、業後の補習(商業科・機械科)、特別時間割による遅進指導
金城学院中学校・高等学校	中学校：少人数指導(中3英語科)、高校：「理数探究」セミナー(夏季)
啓明学館高等学校	習熟度別授業(商業科1年、国語・英語・簿記)、土曜・夏・冬・春季講座(希望者)
至学館高等学校	少人数クラス編成(普通科アドバンス) e-learning教材の活用
相山女学園高等学校・中学校	補習等(中学・高校)、選択授業による少人数指導(高校)
星槎名古屋中学校	本人が目指す進路=目的に合わせた「目的別クラス」編成、習熟度別クラス(3年数学、2・3年英語)、土曜授業「漢字検定ゼミ」
大同大学大同高等学校	少人数教育(特進エクセレント)、理系・文系希望別に補習等の細分化
中京大学附属中京高等学校	習熟度別授業、学習合宿(3泊4日)
東海中学校・高等学校	少人数制・外国人講師による英会話授業(中、高1・2年)、少人数制・英語グレード授業(高2・3年)
東海学園高等学校	早期・業後補習、選択科目による少人数指導、学習合宿(特進)
東邦高等学校	中学校内容「ブリッジ学習」、eラーニング(1・2年生の一部)、少人数教育(1年英語コミュニケーションリッシュ等)、授業アンケートによる教員の研鑽
同朋高等学校	基礎学力検定(1年1学期)、少人数編成(英語表現・数B・美術)
名古屋中学校・高等学校	毎週の確認テスト、進学講座・指名者補習、授業アンケート
名古屋経済大学市邨中学校・高等学校	少人数授業(英語、3クラス4グループ習熟度別)少人数開講の選択科目(高2・3年)、少人数クラス編成(中・高 特進コース)
名古屋国際中学校・高等学校	英語(Native English)1クラス2グループ習熟度別(中1～3年)
名古屋女子大学中学校・高等学校	少人数クラス編成(中1～3年、高校特進、高校一貫)、eラーニング(高1、一貫4年)
名城大学附属高等学校	少人数で探究活動(「スーパーサイエンスラボ」「課題探究」)

学校名	取 組 内 容
愛知啓成高等学校	外国人講師による少人数英会話授業、数学・英語の習熟度別少人数授業、全校朝の10分間リスニング学習、被服製作・調理の少人数授業
愛知黎明高等学校	基礎学力テスト、e-learningを活用した特別指導、少人数授業・TT
栄徳高等学校	習熟度別授業（1年生数学Ⅰ、英語表現Ⅰ）
修文女子高等学校	少人数教育（普通科国・数・英、情報会計科・家政科・食物調理科3年生国語）等
聖カピタニオ女子高等学校	習熟度別クラス（2・3年、国・数・英）、少人数選択科目（2・3年）
誠信高等学校	7限授業（特進）、習熟度別クラス（1年、英・数、2、3年、数）
星城高等学校	朝の10分間学習（英数国）
清林館高等学校	チーム授業（「外国語」の一部で日本人・外国人教師、「情報」教員2人）
聖霊中学校・高等学校	到達度別授業（高3：英、高1・2：数）、少人数選択科目（高2・3年）
大成高等学校	中学校：少人数クラス（2分割）によるネイティブによる英会話、探求学習 高校：教員相互の授業参観・研究協議
滝中学校	補習授業（成績不振者・週1回）
中部大学第一高等学校	少人数教育（特進、一貫コース）、習熟度別授業（3年英語など）等
中部大学春日丘高等学校	数学、物理、英語で学力別少人数指導、課題探究にける大学教員との連携
中部大学春日丘中学校	習熟度別クラス編成（英語）、少人数による補習や学習合宿
愛知産業大学三河高等学校	英数国講座（進学コース、隔週土曜日、外部講師）、映像授業（進学コース）、国数英の習熟度別授業
愛知産業大学三河中学校・高等学校	習熟度別2クラス（高1）、特別補習、家庭学習支援Web教材の提供
安城学園高等学校	外国人講師とのTT（英語表現、英語演習）、e-ラーニングの活用等、数学Ⅰの一部授業をチーム・ティーチング実施
岡崎学園高等学校	習熟度別少人数授業（2・3年特進）
岡崎城西高等学校	30人以下授業（2・3年理科、1・2年芸術、2・3年社会）等
杜若高等学校	文理・特進コース1クラス30人編成、習熟度別少人数授業
豊田大谷高等学校	2・3年に理系・文系選抜コースを設置
南山国際高等学校・中学校	ほとんどの授業を30人以下で実施
桜丘高等学校	少人数授業（英数コース、中高一貫コースで教科、文理別授業の選択等）
桜丘中学校	習熟度別クラス（英語：1～3年、数学2・3年）、朝の会でイングリッシュシャワー（7分間の英会話放送）、補習授業（ステップアップ、フォローアップ）
黄柳野高等学校	到達度別クラス編成（国数英）、少人数授業、TT、基礎学習（国数英）
豊川高等学校	情報科目「社会と情報」2クラス3展開、早朝学習、業後補習
豊橋中央高等学校	「くもん学習」（基礎学力定着）、動画教材「すらら」補習、授業、英検対策「7つの習慣J」の導入、就職補習（社会のヘレジデンス）
藤ノ花女子高等学校	土曜講座

（愛知県私学協会とりまとめ 平成29年7月）